

②金剛地区まちづくり会議の運営等について

金剛地区まちづくり会議

地区の再生・活性化を共通理念として、誰もが気軽に参加でき、自主的・自立的な活動を行う人々のプラットフォーム

「金剛地区でこんなことがしたい」「地区の魅力を高める取組を企画・実践したい」といった思いがある人が参加



まちづくり会議のメンバーや地域でまちづくり活動等を行う人が集まる場として、全体会を定期的開催。

全体会

金剛地区の活性化に向けて、
交流・つながりづくり・意見交換・情報共有を行う場

地区活性化につながる活動が起こる場



発足から5年目を迎え、参加者が主体的に関わり
「まちづくり会議」や「全体会（集まりの場）」運営のあり方の
本格検討が必要

前回協議会の報告内容

集まる場として、定期的に(年4回程度)「全体会」を開催しているが…

■現状では、

- 地域住民等の積極的な参加はあるものの、主体的に関わる運営には至っていない。
- 年4回程度開催の全体会だけでは、密な情報共有等が図れない。
- 全体会の場以外に、参加者との連絡調整・情報共有等ができる体制がない。

市



市と共に、「まちづくり会議」や「全体会」の運営が進められる体制づくりをお願いしたい。

■体制づくりに向けて

積極的に活動を進めている「総合まちづくり部会」、「(一社)わっく金剛」のメンバー、その他の参加者に相談し、方向性等を共有。

各部会等からの推薦等により、世話人を選出していただける方向で調整が進む

自薦・他薦により世話人を選出し、全体会の了承を得て、世話人による「運営会議」が発足。(R3.10)

まちづくり会議「運営会議」の概要

- 参加者が主体的に関わり、「まちづくり会議」や「全体会」の運営が進められる体制づくりを念頭におき発足。
- ・現在、10名が参加。 ⇒ 随時誰もが参加できる。
 - ・市と共に、まちづくり会議のあり方や、全体会の開催（日程・会議内容・進め方等）について検討するとともに、市との情報共有等の窓口などを担う。

「運営会議」が担う役割（案）～これまでの経過を踏まえ事務局で整理～

1. 「まちづくり会議」の運営

- ①誰もが共感できる、共通の目標をつくる。
- ②プラットフォームとして、まちづくり会議の輪を広げる。
- ③日常の情報共有を行う。
- ④地区内外で活動する様々な団体との調整窓口となる。
- ⑤その他

2. 「全体会」の運営

- ①現在活動中の取組を共有するとともに、かかえる課題等の解決支援をする中で、更なる活発化を図る。
- ②新たなまちづくり活動を創出（発案、仲間集め等）する。
- ③まちづくり活動間の繋がりをつくる。
- ④勉強会を開催し、まちづくり活動の知見を広げる中で、新たな活動の創出や、既存の活動のファンを増やす。
- ⑤様々な立場の人が気軽に参加できる環境を整え、金剛地区の活性化について、広く意見交換できる場づくりを行う。
- ⑥その他

運営委員の意向も踏まえ、「運営会議の役割」や「まちづくり会議・全体会のあり方」について、検討を進めていく。